

## 第38回 原子力委員会臨時会議議事録

1. 日 時 1995年9月29日(金) 10:30～

2. 場 所 委員会会議室

3. 議 題

- (1) 日本原子力研究所東海事業所の原子炉の設置変更(放射性廃棄物の廃棄施設、FCA施設、STACY施設及びTRACY施設の変更)について(諮問)
- (2) その他

4. 審議事項

(1) 議事録の確認

第37回原子力委員会定例会議議事録(案)が了承された。

(2) 日本原子力研究所東海事業所の原子炉の設置変更(放射性廃棄物の廃棄施設、FCA施設、STACY施設及びTRACY施設の変更)について(諮問)

平成7年9月14日付け7安(原規)第174号をもって諮問を受けた標記の件について、科学技術庁から説明がなされ、引き続き審議することとした。

注) 本件は、放射性廃棄物の廃棄施設について、廃棄物保管対の保管能力を増すために、解体分別保管棟を設置するとともに、廃棄物保管棟・2の廃棄物保管体の保管能力を増すこと、雑固体廃棄物を解体するためのエリアとして、解体分別保管棟内に解体室を設置すること。

FCA施設について、窒化物燃料を模擬した炉心を構成するために、その模擬物質として、含窒素化合物(窒化アルミニウム)を使用すること。

STACY施設については、プルトニウム硝酸水溶液等の原料として入手するウラン・プルトニウム混合酸化物中のウランを天然ウランから劣化ウランに変更することに伴い、STACY施設における燃料体の最大そう入量、燃料材の種類、粉末燃料貯蔵設備の貯蔵能力及びTRACY施設と共用する溶液燃料貯蔵設備の能力を変更するものである。